

'94香港～北京ラリー「三菱ランサーディーラーチーム」派遣メカニック選考会開催

## 飯塚恒守氏(CMSC群馬)メカニックに選ばれる!!

10月22日香港をスタートして28日に北京にゴールする「1994香港～北京ラリー」で、篠塚建次郎選手の「三菱ランサーディーラーチーム」をバックアップする三菱自動車販売協会ギャラン部会では、昨年に引き続き、今年もラリーのサービスマカニックを5名派遣することになり、8月25日から3日間静岡県御殿場市の特設会場で、派遣メカニックの最終選考会を開催しました。

選考会は三菱自動車販売協会ギャラン部会およびラリーアートが主催。全国のギャラン系販売会社130社、約6,500名のメカニックの中から最終選考会に残った全国9地区の19名が参加しました。

「香港～北京ラリー」は過酷なハイスピードラリーであると同時に、サービス隊も含めた参加者全員がラリーとともに長距離を移動する不確定要素の多い特殊なラリーのため、選考会も2泊3日のキャンプ形式で行われました。篠塚選手も昨年同様、審査に加わって、体力審査、メンテナンス技量審査、ドライビング審査、面接審査と厳しい審査が続きま

した。  
今年にはCMSC群馬から、昨年選ばれたCMSC大阪・杉本達也、CMSC島根・岡本春生の両名に続き群馬三菱自動車販売株の飯塚恒守氏が見事選ばれ、その技量を存分に発揮してくれるものと思

います。  
写真上、選考された5名。左より飯塚氏、東京北自・飯島邦彦氏、篠塚建次郎氏、埼玉自・横田文典氏、南大阪自・山尾城司氏、九州自・稲本正道氏。写真左上、体力審査。写真左下、面接審査。写真右、メンテナンス技量審査で奮闘中の飯塚氏。



CMSC群馬  
飯塚恒守

### '94香港～北京メカニック選考会

モータースポーツに興味のある者なら誰しも、海外ラリーは憧れだと思います。私も今回のチャンスに迷うことなく応募させて頂き、何とか最終選考まで残ることができました。

前年、我がCMSC群馬会長荒井信介さんが参加しており、ある程度の厳しさは聞いておりましたが

## 念願の海外ラリー参加

予想を上回るものでした。前年よりも種目が増え、予告なしの深夜の車両整備、英語による事故対応テストなど、心身共にハードなものでした。しかし、CMSCの全国大会等で篠塚選手、ラリーアートの方々などは何度かお目にかかった事があり、多少なりとも気が楽に過ごせました。さらに、全国のCMSCの方々も何名か参加しており心強く思いました。また、前年サービス隊で行かれたCMSC大阪の杉本さん等も選考会に手伝いに来ており、色々な話を聞くことができ大変参考になりました。

今回私は運良くサービス隊に選ばれましたが、同じハードなテストを受け選ばれなかった方々、及び、全国のCMSC会員の代表として、期待に応えられるよう頑張っておこなえばと、今から気を引き締めております。話によりますと、本番ラリーは相当厳しいという事ですので多少の不安はありますが、念願かなって海外ラリーに参加できるのですから、悔いのないように頑張ります。そして、無事帰って吉報をお伝えできれば幸いです。

# CMSC創立30周年!



CMSCが設立されたのが1964年。以来30年。CMSCは日本のモータースポーツの歴史と共に、その普及に貢献しながら歩んできました。今や支部も今年発足した浜松、道北を含めて19支部、部員数も700名を超える数までになりました。

当初、三菱のファクトリーチームとして誕生し、それが全国各地の三菱ファンによって、自然発生的に、ディーラーを中心として次々とクラブを設立。「コルトモータースポーツクラブ」の名を冠してJAFに登録されることにより正式な組織人格を取得いた

しました。アマチュアオリエントドの三菱車によるモータースポーツ活動がここにスタートしたわけです。以来、CMSCはモータースポーツを文化としてとらえ、各メンバーがモータースポーツにいきなり、情熱をかたむけてクラブの歴史を積み重ねてきました。コルト、ギャラン、ランサー、ミラージュなど我々と歴史を駆けてきた三菱の名車たち、同じ苦労や喜びを共にしてきたメンバーの方達、そして三菱のモータースポーツ活動の拠点ともいべき株式会社ラリーアートが存在。すべての要素が我々

のCMSCを邁進させてきた原動力なのです。

30年を迎えた今年も各地からクラブ員の方々の活躍が聞こえてまいります。日本国内の各種大会の主催や競技会での活躍、さらには海外へ遠征しての競技参加など、今も設立当初の志を胸にさらに発展したかたちで進み続けるCMSC。30周年はまだまだ通過点です。さらに、その活動の輪を広げ、日本のモータースポーツの発展に貢献しつつ、クラブとクラブ員の皆様の発展を目指してまいります。

CMSC群馬 6月26日  
CMSCトリアルン那須

前日まで降っていた雨も上がり、梅雨とは思えないさわやかな空の下、CMSCトリアルン那須はコースクリアの岩田、荒井、登坂、鳥羽、大井の5選手の激走から幕を開けました。日頃はなかなか見ることのできない全日本選手達の走りをエントラント達は皆食い入るように見ていました。その走りに影響されたのか、ゼッケン1番からのフレッシュマンクラスでは、クラッシュや転倒寸前の過激な走りが多く、周りをヒヤッとさせるシーンもありました。

今回のコースは2分前後かかる長いコースで、アクセル全開の箇所あり、テクニカルな箇所ありと変化に富み、なかなか楽しめるコース設定になったと思います。朝のうちはややウェット気味だった路面も徐々にドライになっていき、1分48秒というタイムもたたき出されました。これは2本目が楽しみと

## 群馬のイベントに雨はつきもの

思われましたが、そこはCMSC群馬のイベント、やっぱり雨。昼休みから降りだした雨はどんどん激しくなっていく、結局ほとんどのエントラントがタイムダウンして1本目の記録で勝負が決まってしまう。僅かな時間で勝負がついてしまうダートラ。いかに1本目から集中していけるかにかかってくるだけに、精神力の訓練の必要性を痛感した競技会でした。

さて、成績の方はAIVの織本選手がオーバーオールウィンで三菱賞もさらっていきました。また、AIVはなんと1位から3位まですべてランサーという結果となりました。今回は長いコース設定かつエントリ-156台と台数も多かった割にはスムーズに競技が進み、それほど遅くならずにイベントが終了できました。これもひとえにエントラントの方々、オフィシャルの皆さんの協力のおかげです。来年もまた、皆が楽しめるイベントを開催できるよう努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(CMSC群馬 細村 謙一)



上、三菱賞上位3名の表彰。下、荒井会長によるコースクリア。